

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成22年3月
大野市（福井県）

I. ポイント

○計画期間;平成20年7月～平成25年3月(4年9月)

1. 概況

平成20年7月の基本計画認定後、観光客等の来訪者を受け入れる仕組みづくりが重要であるとして、越前おおの結ステーションの整備を最優先に進めてきた。結ステーションの関連施設は、輝（キラリ）センターや大野商工会議所に加えて、越前おおの結楽座、シンボルモニュメント（時鐘）、多目的広場兼駐車場など約9割が完成し、平成22年4月からの供用開始に向けた準備を進めている。また、平成22年3月には、市民総出による「越前大野城築城430年祭」がスタートした。

一方で、まちなかの商業の活性化や魅力を高めるために、商店街に点在する空き店舗の早期活用が望まれる。平成21年度においては、アドバイザー派遣事業（中小企業基盤整備機構から越前おおの中心市街地活性化協議会へ派遣）を活用するなどして、五番商店街元気再生計画が策定され、商店街再生の道筋が示された。「百円商店街」や新たな「夜市」を開催するなど、各商店街における独自の新しい取組みについても定着しつつある。

越前大野駅からまちなかを巡る「大野まちなか循環バス」の試験運行が平成21年10月に開始した。

基本計画の主要事業は、ほぼ計画どおりに実施されており、掲載する58事業のうち、11事業が完了、ソフト事業など30事業が実施中、工事など8事業が着手中、9事業が未着手の状況である。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値 (年)	目標値 (H24)	最新値 (H21)	見通し
まちなか観光による 交流人口の増加	関連施設の年間入 込み客数 (中心市街地主要5 施設)	80,234人 (H19)	100,000人	83,487人	①
商店街を中心としたま ちなか生活の充実	1日当たりの歩行者 通行量 (休日6地点)	2,001人 (H19)	2,400人	2,869人	①

注) ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

関連施設の年間入込み客数（中心市街地主要5施設）について

- ・結ステーションが工事中であることなどにより、施設への入込み客数が伸び悩んだ。

- ・結ステーションの供用開始とともに、「越前大野城築城430年祭」の広報・宣伝活動により、より多くの誘客やリピーターの確保に努めることから、目標達成可能であると見込まれる。

1日当たりの歩行者通行量（休日6地点）について

- ・平成21年の歩行者通行量調査では2,869人となり目標値を上回った。基本計画認定後に商店街等が始めた百円市等(毎月第1日曜、他)の効果が出てきていると考えられる。
- ・結ステーションが供用開始することにより、輝（キラリ）センターや越前おおの結楽座、平成大野屋等での観光、商店街案内が本格化し、来訪者を効果的にまちなかへ誘導できることから、目標達成可能であると見込まれる。

4. 今後の対策

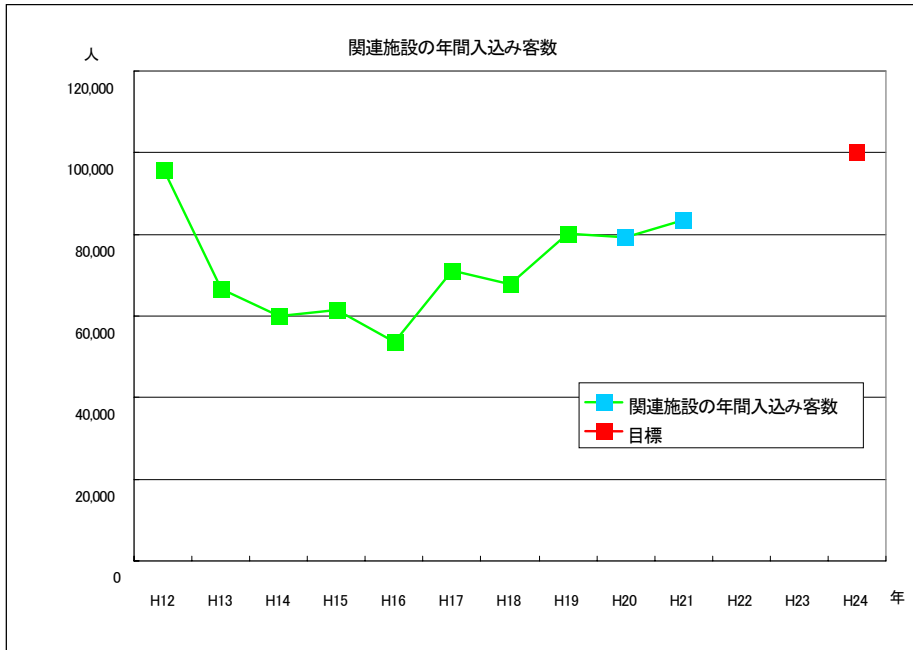
- ・「越前大野城築城430年祭」の約1年の開催期間を通して、越前おおのの人や歴史、文化、あるいは自然環境や食などの本市が誇る魅力を全国に発信することにより、より多くの誘客やリピーターの確保に努め、まちなかの賑わいの創出につなげていく。
- ・越前おおの結ステーションの供用により、来訪者をまちなかへ誘導する。また商店街や商工会議所による商業・サービスの魅力強化を図るための取組みを新たに開始する。これらによりまちなか全体での回遊を促進させていく。
- ・アドバイザー派遣事業（中小機構から中活協議会へ派遣）を引き続き活用し、商店街を活性化させるための事業に取り組んでいく。
- ・今後とも基本計画掲載事業を積極的に推進していくとともに、空き店舗の活用事業が具体化した段階など、必要に応じて、基本計画への事業の追加を検討していく。

II. 目標「まちなか観光による交流人口の増加」

「関連施設の年間入込み客数（中心市街地主要5施設）」

※目標設定の考え方基本計画 P64～P67 参照

1. 調査結果の推移



年	人 (単位)
H19	80,234 (基準年値)
H20	79,313
H21	83,487
H22	
H23	
H24	
H24	100,000 (目標値)

※調査月；1月から12月

※調査主体；大野市

※調査対象；平成大野屋、越前大野城、民族資料館、武家屋敷旧内山家、旧大野藩武者溜（藩主隠居所）

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 越前おおの結ステーション整備事業（大野市、大野商工会議所）

事業完了時期	【未】平成22年度
事業概要	旧小学校跡地に、まちなか観光・商店街情報等を提供する「輝(キラリ)センター」、地元の逸品を広く取り扱う店舗とフリーマーケットが開催可能な通路の「越前おおの結楽座」、歴史的建造物を移築し休憩所等として利用する「旧大野藩武者溜(藩主隠居所)」、「多目的広場兼駐車場」等を備えた交流・観光拠点を整備する。
事業効果又は進捗状況	平成20年4月 結ステーションの基本計画を策定 平成20年10月～平成22年8月 施設ごとに順次着工 平成21年4月 輝センター、大野商工会議所会館、まちなか交流センターが供用開始 平成21年8月 多目的広場兼駐車場Aが一部供用開始 平成22年4月 越前おおの結ステーションの供用開始 越前おおの結楽座、時鐘、多目的広場兼駐車場A・Bが供用開始 平成22年秋 旧大野藩武者溜(藩主隠居所)供用開始予定 また平成21年度において、各施設の整備状況に応じて、全国植樹祭奥越会場、産業祭等の大型イベントを実施し、越前おおの結ステーション

の存在を市民・来訪者に対し周知してきた。供用開始に伴い、越前大野城築城430年祭メインイベント・関連イベントの会場等として積極的に活用していく。

②. 武家屋敷旧内山家活用事業（大野市）

事業完了時期	【実施中】平成9年度～
事業概要	旧武家屋敷を解体復元した内山家において、年間を通じたイベント・サービスを実施する。
事業効果又は進捗状況	本事業は、武家屋敷及び庭園を復元し展示しているのみならず、屋敷内での抹茶サービスや囲炉裏での焼餅などの体験を提供することで、まちなか観光を目的とする来訪者の期待に応えている。平成22年度においては抹茶サービスに加え、茶道の歴史紹介展示を予定している。

③. 越前大野城ライトアップ事業（大野市）

事業完了時期	【実施中】平成4年度～
事業概要	越前大野城を夜間にライトアップすることにより、イメージアップを図る。
事業効果又は進捗状況	ライトアップすることで夜空に城が浮かび上がり、来訪者に対し、特に商店街でのイベント開催時において、城下町を印象づけている。平成21年度に亀山の樹木を空かしたことで、城が一層見えやすくなった。築城430年祭を前に、越前大野城の年間入込客数が増加している。430年祭関連で越前大野城へ行く企画をしており、引き続き年間入込客数の増加が見込める。

④. (i) 平成大野屋オリジナルブランド開発事業、(ii) 平成大野屋伝承料理提供事業、(iii) 平成大野屋事業（株平成大野屋）

事業完了時期	【実施中】(i)平成19年度～、(ii)平成19年度～、(iii)平成8年度～
事業概要	まちなか観光拠点施設「平成大野屋」を拠点にして、大野の産品や歴史にこだわったまちづくり会社のサービスを提供する。
事業効果又は進捗状況	結ステーションの関連施設となった平成大野屋(平成10年度から平成16年度にかけて整備済)においては、(株)平成大野屋が、地元産にこだわった加工品開発や物品販売、地元で伝わる料理をメニューとして提供する茶屋を実施している。(株)平成大野屋は、結ステーション・越前おの結楽座の出店者公募に参加し、平成22年4月からの物品販売団体に決定した。結楽座の販売では、市内取引業者の充実を図り、築城430年祭オリジナルグッズを加えるとともに、地元の食が味わえるイートインコーナーも設ける。

⑤. (i) まちなか遠足誘致促進事業、(ii) シルバーエイジまちなか散策誘致事業、(iii) 観光セールス事業（大野市）

事業完了時期	【実施中】(i)平成15年度～、(ii)平成20年度～24年度、(iii)平成19年度
--------	---

	～
事業概要	小・中・高校生のまちなか観光を中心とした遠足、高齢者及び団塊世代のまちなみを巡る散策ツアー、バス会社等に対するツアーなどを企画提案し、様々な年齢層の誘客を進める。
事業効果又は進捗状況	<p>関東、中京及び関西方面における観光商談会に積極的に参加するとともに、学校や老人ホーム等へのPRを実施し、越前おおのへの来訪を勧めている。まちなか遠足の誘致については、更なるPRに努めているものの、来訪学校数はあまり増加していない。一方で、高齢者を対象とするツアーについては、平成21年度には100以上の団体に来訪していただいた。</p> <p>今回、築城430年祭オリジナルグッズが多数開発されたことで、子どもたちにプレゼントされる特産品300円券で購入できる物が増え、遠足の強みとなった。引き続き観光商談会への参加やPRに努め、多数の来訪者獲得につなげていく。</p>

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

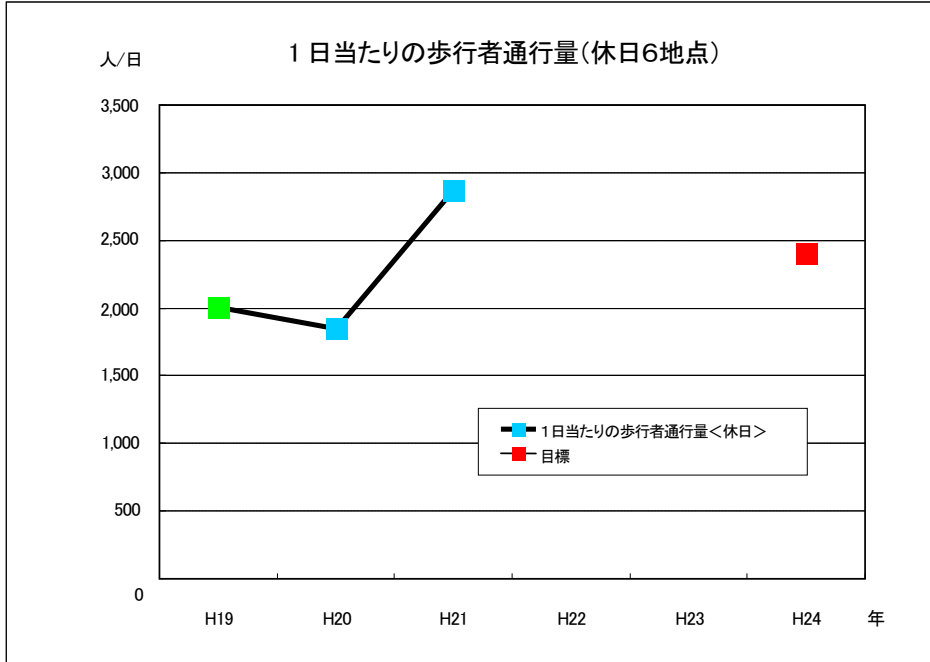
- ・これまで観光駐車場として利用していた場所で越前おおの結ステーションの工事を実施していることや、平成21年は新型インフルエンザの流行に伴いバス旅行を控えるなどにより、結ステーション周辺で施設への入込み客数が伸び悩んだ。
- ・結ステーションの工事が完了し、平成22年4月2日に供用開始すると、来訪者を迎え入れるとともに、まちなかへ誘導する仕組みが本格稼動する。また、「越前大野城築城430年祭」（平成22年3月21日から平成23年2月6日開催）の広報・宣伝活動を通じて、越前おおのの人や歴史、文化、あるいは自然環境や食などの本市が誇る魅力を全国に発信し、より多くの誘客やリピーターの確保に努めていくことから、目標達成可能であると見込まれる。

Ⅲ. 目標「商店街を中心としたまちなか生活の充実」

「1日当たりの歩行者通行量（休日6地点）」

※ 目標設定の考え方基本計画 P68～P72 参照

1. 調査結果の推移



年	人/日 (単位)
H19	2,001 (基準年値)
H20	1,845
H21	2,869
H22	
H23	
H24	2,400 (目標値)

※調査月；10月

※調査主体；越前おおの中心市街地活性化協議会

※調査対象；平成大野屋前、ねんりんの里前、七間本陣付近、市観光協会付近、旧Fマート前、越前大野駅前の休日朝7時から夜7時までの歩行者通行量

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 五番商店街活性化対策事業（地元で構成するまちづくり会社）

事業完了時期	【未】平成23年度
事業概要	空き店舗(旧Fマート)で、五番商店街再生の核となる店舗及び公共的施設を整備する。
事業効果又は進捗状況	平成21年度において、五番商店街全体を活性化させるための元気再生計画策定に取り組み、その過程で、来街者の購買ニーズ及び不足業種(日常需要品及び生鮮食品)を把握した。本事業により、不足業種を補完し、商店街の魅力向上と来街者増加を目指す。 <今後のスケジュール> 平成22年度 店舗運営のための予備調査及び工事計画の策定 平成23年度 工事着手

②. 越前おおの結ステーション整備事業（大野市、大野商工会議所）

【再掲】P3 参照

③. まちなか遠足誘致促進事業、シルバーエイジまちなか散策誘致事業、観光セールス事業
【再掲】 P4 参照

④. 越前おおの号運行事業（大野市公共交通活性化協議会）

事業完了時期	【未】平成25年度
事業概要	JR越美北線の列車の車体に大野市のイメージに合ったデザインを施したラッピング列車を運行する。
事業効果又は進捗状況	平成21年度 協議会において車両3両のデザインを検討 3月、デザインを3案に絞込み、市民等による投票実施 平成22年度 デザイン及び運行計画を決定 平成22年度～平成24年度 運行

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・平成21年の歩行者通行量調査では2,869人となり目標値を上回った。商店街や七間朝市が基本計画認定後に百円市、ワゴン市(毎月第1日曜、他)を始めており、これらによる集客効果が出てきていると考えられる。
- ・結ステーションが供用開始することにより、輝(キラリ)センターや越前おおの結楽座、平成大野屋等での観光、商店街案内が本格化し、来訪者を効果的にまちなかへ誘導することができる。また越前大野城築城430年祭の機会に商店街や商工会議所による商業・サービスの魅力強化を図るための取組みが新たに用意されている。
- ・アドバイザー派遣事業(中小機構から中活協議会へ派遣)を引き続き活用し、商店街を活性化させるための事業に取り組んでいく。
- ・今後とも基本計画掲載事業を積極的に推進していくとともに、空き店舗の活用事業が具体化した段階など、必要に応じて、基本計画への事業の追加を検討していく。